

「腰骨の間に針」は痛いよ？



「同じ高齢者でも、さすがに女性は金持ちだ」と、友人は嘆息する。

先日の講演会で、アルツハイマー病の新検査法である「アミロイドPET（ペット）（陽電子放射断層撮影）」を紹介した時である。画期的な方法だが、まだ保険は使えない。そのうえ、まだアルツハイマー病の根治療法はないので、検診には時期尚早だと話したはずだ。それでも、90歳の女性が「私、検査を受けたい。費用はどれだけ？」との質問だ。諦

### アルツハイマー病の検査

めることを願いつつ、「8万円くらいのようです」と答えた。その女性は「あら、安いのね。年金1カ月分じゃないの」ときた。

友人は、ぼやく。「財布を女房に握られてしまった男は哀れだ」と。そう落ち込むな。PETがなくても、他に、アルツハイマー病の早期診断に役立つ検査法がある。アルツハイマー病というのは、発病する20年以上前からアミロイドβタンパクが沈着し始め、10年くらい遅れてタウ

ンパクの凝集が起こった結果だ。血液検査では、脳の中のそれらの微量なタンパクの変化を捉えることはできない。だが、脳や脊髄を流れる脊髄液を調べれば分かる。アルツハイマー病では髄液中のアミロイドβが減少し、リン酸化タウが増えるという。この髄液のリン酸化タウの測定は保険が使えるのである。となれば、自称、貧乏人の友人だって喜びそう。だが、髄液検査にな

### 医者の技術要求される

ると、腰骨の間に針を刺して脊髄液を採らなければならない。ちょっと痛い。いや、それだけではない。髄液検査をする医者に技術が要求される。運が悪ければ、もっと痛い目に遭つかもしいない。

「検診となれば、採血と同じで看護師でもできるようなものでない」と、な。それは、ずっと先の話ということか」と、友人はしょんぼり。どうやら彼も、怖いもの知らずで、自分の脳の状態を早く知りたいようである。

（石黒修三 しいしぐるクリニック・脳神経外科専門医、金沢市在住）